

2020年9月12日(土)

第32回 埼玉県学童保育 オンライン“日帰り研究会”

**コロナと学童保育 子どもの視点から考える
～ withコロナのなかで学童保育の生活づくり
をどう進めるか ～**

*講義のレジュメはメール添付したものをお手元にご用意ください。
*受講者の皆さまのビデオ付けにご協力をお願いします。



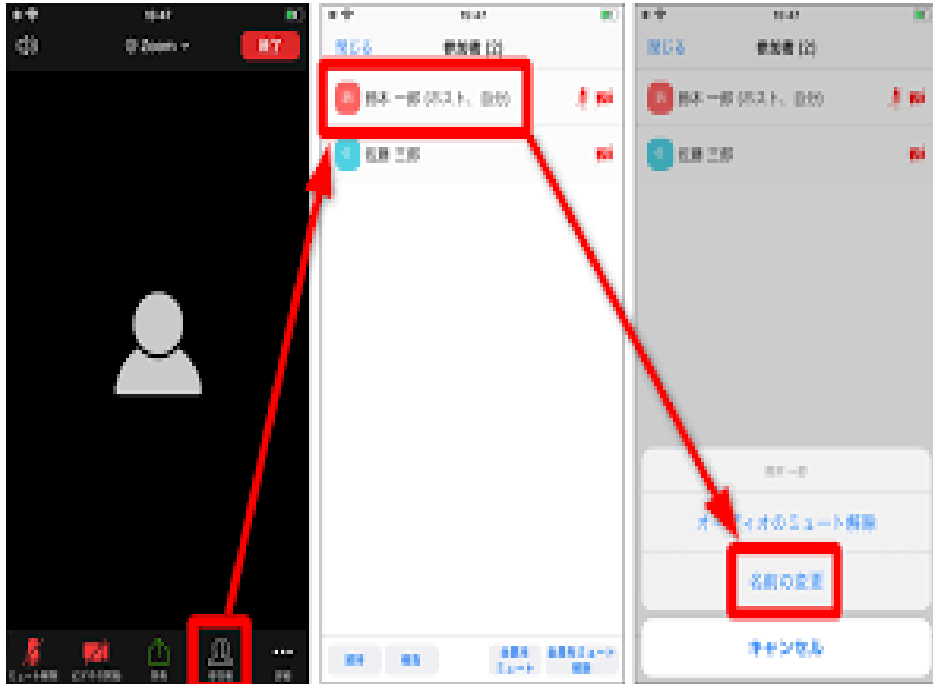
みなさまへのおねがい

1. 受講者は名前を「実名（漢字） クラブ名 地域」のように変更してください。
2. 講演中はホスト操作での音声ミュートする場合があります。
3. 講演者の希望により受講者のビデオ付けの協力をお願いしています。
4. 録音・録画はご遠慮ください。
5. もし、途中で「退出」しても 再度ご参加ください。待合室での待機が必要になります。
6. レジюмеと資料は事前にお手元にご用意ください。
8. オンラインに不慣れな方もいらっしゃいます（安心してご参加ください）。

名前の変更方法

スマホ

②自分の名前
クリック



①参加者
クリック

③名前変更
クリック

PC画面から

①自分の画像にカーソル
を合わせ
右上の…をクリック



②名前変更
クリック

本日のスケジュール

司会:木村 徹(県連協事務局長)

13:00 開会

主催者あいさつ 長倉 香(県連協会長)

13:05

趣旨説明 森川鉄雄(県連協事務局次長)

13:20

■パネルディスカッション 120分 *途中休憩10分

15:40

■基調講義 75分

「新型コロナウイルスとは。子どもへの対応の留意点」

講師:峯 真人氏(医療社団法人自然堂峯小児科院長)

16:55 事務連絡 *アンケートを1週間以内に送ってください

17:00 閉会

パネルディスカッション 出席者紹介

- **新井利民（立正大学社会福祉学部准教授、北本学童保育の会うさぎっ子クラブ代表理事）**
- 立命館大学産業社会学部卒。日本社会事業大学大学院修士課程修了。担当授業は、地域 福祉論、社会福祉計画論、ソーシャルワーク実習など。
- 大学在学中の阪神淡路大震災被災地や農山村地域の社会調査活動をきっかけに社会福祉を専門 とする。様々な人や機関が街を、社会サービスを作っている姿を目の当たりにし、地域を基盤と して、社会福祉分野のまちづくり・活動づくりを探求したいと考え、研究活動をスタート。
- 大学1年男子・高校1年男子・小学校6年女子はすべて学童保育でお世話になりました。

パネルディスカッション 出席者紹介

- **佐藤幸恵（富士見市南畑放課後児童クラブ指導員）** 民営時代最後の年、娘の入室をきっかけに学童保育と出会いました。支援員20年目、5か所目のクラブで奮闘中です。
- **山岸雄介（富士見市南畑放課後児童クラブ保護者）** 日本が誇る二輪車メーカーのものづくり担当。3姉妹のお父さん。保護者会会長として、何かお役に立てればという思いで参加していただきます。
- **河野伸枝（飯能市原市場かたくりクラブ指導員）** 現在の飯能市かたくりクラブのつくり運動から携わり、支援員31年目です。今や、学童のOBが保護者となり、OBの子どもたちが学童に通ってきます。
- **上野琢也（皆野町立三沢小学校教諭）** 岩手県出身。教職8年目の現在は秩父地域の小規模校で学級担任をしています。子どもたちの自立を目指し、試行錯誤しています。埼玉県生活指導研究協議会常任委員。

峯 真人氏 紹介

- 1952年 埼玉県岩槻市に生まれる
- 1971年 埼玉県立春日部高等学校卒業
- 1977年 日本大学医学部卒業後、小児科学専攻
- 1981年 埼玉県小児医療センター立ち上げから関与
- 1984年 亡父より峯小児科継承(四代目)

峯 真人氏 紹介

主な役職

埼玉県小児保健協会 会長

埼玉県小児科医会 副会長

日本小児科学会 埼玉地方理事

岩槻市教育委員会 委員長

SIDS家族の会 医学アドバイザー

彩の国 予防接種推進協議会 会長

さいたま市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 委員